

3サンハイツせけんぱな紙

第 42 号

令和7年5月1日

編集責任者
田島康弘(3-101)
作成責任者
渡邊芳憲(9-503)
編集委員
小松清明(10-501)

団地内の野草

田島康弘(3-101)

ハナニラ

別名 イフエイオン、

スプリングスターフラワー

3号棟の前で咲いていました。別名のイフエイオンは学名です。

アルゼンチン原産で、明治時代に園芸植物として導入されましたが、とても丈夫なので野生化しています。花期は3〜4月なので、スプリングスターフラワーとも言われます。

葉はニラの匂いがしますが、ニラとは違い有毒で食べられません。

なお、同じハナニラの名前で、食べられるニラの花を野菜として売られていることがあります。ここでの野草のハナニラとは別物です。



5月行事予定

詳細はL Lかもいけ134号に

- 9日(金) ◎火災予防の日(毎月9日)
- 10日(土) ◎鴨池小学校 土曜授業
◎鴨池中学校 土曜授業
◎鴨カムサタデー 12:00~13:30 校区公民館前松林
○鴨カムお結び(提供完了次第終了)
料金:18歳以上/300円、18歳未満/200円、未就学児/無料
○スマホ相談会 予約不要
- 13日(火) ◎鴨池中学校 授業参観・PTA総会
- 14日(水) ◎スマホ相談会 10:00~12:00 鴨池校区公民館
要予約:12日(月)午前中までに鴨池校区コミュニティ協議会事務局(☎099-285-1522)へ
- 15日(木) ◎鴨池PTA合同リサイクル活動 7:30~8:00 鴨小正門/東門
◎頭いきいき!音読塾 14:00~15:30 鴨池生協クリニック3階集会室
問い合わせ・申込み:担当片平さん ☎080-2739-3578 又は 099-260-3532
- 25日(日) ◎鴨池中学校 体育大会
- 28日(水) ◎スマホ相談会 10:00~12:00 鴨池校区公民館
要予約:26日(月)午前中までに鴨池校区コミュニティ協議会事務局(☎099-285-1522)へ
◎鴨かもサロン(体幹トレーニングの簡易版)
10:00~11:20 鴨池生協クリニック1階フロア 参加費:100円
問い合わせ・申込み:担当片平さん ☎080-2739-3578 又は 099-260-3532

体幹トレーニング

- 12日(月) } 11:00~12:00 鴨池生協クリニック5階 参加費:500円
26日(月) }
問い合わせ・申込み:担当片平さん ☎080-2739-3578 又は 099-260-3532

※問い合わせ、申込み:

鴨池校区コミュニティ協議会事務局 ☎099-285-1522

平日午前中(月・水・金曜日は9:00~12:00、火・木曜日は10:00~12:00、祝日は休み)

カーボンニュートラルの動きについて(更新)Ⅱ

渡邊芳憲(91503)

■はじめに

アメリカに、第2期のトランプ政権が始まり、全世界を敵に回す、一般に言われるトランプ関税が打ち出されました。日本にも、相互関税だという言い方で、関税を掛けてきています。トランプ大統領は、『日本はけしからん。自分たちはアメリカ車は買わないくせに、アメリカ人には日本車を売りつけて儲けている。ズルイ国だ』と言っています。日本人からすると、言いがかりとしか思えない言い方です。

日本人には、アメリカ車は使いづらいのです。図体はでかいし、右ハンドルに改造することなく左ハンドルのままでし、燃費も良くないのですから(故障しやすいことは言いませんが)。

この原稿を書いている時点で、日本は、双方が納得できる条件を求めてアメリカと交渉して行くことになっています。

自動車は、日本にとって、主要な輸出品ですから、トランプ関税の行方は、とても気になる事柄です。

余談ですが、自動車については、オバマ大統領も問題視していました。当時の安倍首相から、反論されていました。

私に言わせてもらえば、「アメリカよ、日本人が買いたいと思うような車を作ってくれ」ということなんです。

日本の自動車は、どのメーカーも、絶え間ない努力と改善を通して、利用者にとって使いやすい車、買いやすい車を作っています。その結果がアメリカでも、日本車が売れているということなんです。

■日本での様々な動き

現在、日本では、カーボンニュートラルのために、大気中の二酸化炭素を増やさない燃料の研究や、安全なバッテリーの開発などが進んでいます。

私の中で、一番衝撃的であったのは、大気中の二酸化炭素から燃料などの資源を取り出すという千葉大学の研究です。二酸化炭素は燃料を燃やした後出てくるいわば廃棄物という認識でしたが、この廃棄物から更に燃料、プラスチック原料などの資源を創り出す研究というのは驚きでした。千葉大学の大学院理学研究院の泉康雄教授の下で光触媒を使って、資源を創り出すという研究です。この研究は、世界各国でも行なわれていたことが、千葉大学の研究が画期的なことは、常温環境の中で、高い効率で様々な資源を生み出すというところにあります。

また、信州大学の先鋭材料研究所の堂免・久富研究室での研究、これも光触媒を用いた研究です。光触媒に太陽光を当てて、水から水素を取り出すという研究です。彼らはこれを『人工光合成』と呼んでいます。植物が水と二酸化炭素から栄養と酸素を生み出す光合成にヒントを得た研究です。彼らは、自然環境の中で、1年以上にわたる実験を行ない事故もなく、高い効率で水素を生み出しました。ここでは、水素だけでなく、酸素も創り出されます。水素と酸素の混合気体は、爆発しやすい非常に危険なものです。これを特殊な分離膜を使って安全に分離することができました。しかも非常に高い効率で分離できました。一般的な水素生成は、大量の電力を要する水の電気分解ですが、これは、非常に環境にやさしい方法です。

上の二つの大学の研究で、「光触媒」という言葉が出てきていますが、この言葉については、左で説明しています。

なお、これらの情報は、最初、ユーチューブで見つけましたが、その後、大学のホームページで、確認しました。そこでは、研究目的を含めて詳しく紹介されています。書いてあることは、なかなか難しくよく分かりませんでした。カーボンニュートラルを見据え、更に、日本のエネルギー確保に向けた動きでもあり、さすが、技術立国日本だと感じました。このほか、広島大学や東北大学などでも、研究がされていますし、企業でも様々な研究がされています。

先月述べた「ペロブスカイト太陽電池」ですが、この太陽電池は、ヨウ素を使います(今までの太陽電池はシリコンを使うため「シリコン太陽電池」と呼ばれます)。このヨウ素は、日本が世界シェア第2位を持っているため、外国から輸入する必要のない資源です。その分、日本が有利です。これから、耐久性を高めるなどの研究を積み重ねて、実用に耐えるものとしていく研究が大事かなと考えています。

それと、話は変わりますが、トヨタでは(高級車限定ではありますが)値の張る電池をリース方式とする方針で、その分安く買えるようにしています。

急ぎ足で舌足らずな説明でしたが、動きの一端の紹介とさせていただきます。

触媒とは、一般的には、特定の化学反応の反応速度を速める物質で、自身は反応の前後で変化しないものをいう

光触媒とは、光を照射することにより、触媒作用を示す物質の総称。(ウィキペディアより)

両大学とも、光触媒を用いて、新たな物を創り出しています。千葉大学では二酸化炭素から、メタン、エチレンなどの燃料と資源物質を、信州大学では、水から、水素と酸素を生み出しています。